

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (広島市立戸山中学校)

① 教科等 国語科 ② 学年 第3学年

③ 単元名 「1・2年生に伝えよう メディア社会を快適に生きるための方法」

④ 単元の目標

○ 筆者のものの見方や考え方をとらえたり、発表会でプレゼンテーションをしたりすることを通して自分の考えをもととする。(関)

◎ 『メディア社会に生きる』の論理の展開に沿って内容を的確に読み取ることができる。(読(1)イ)

○ 発表会の中で敬語を適切に使うことができる。(伝国イ(ア))

⑤ 単元の指導計画 (3時間目/全7時間)

次	時	学習内容	評価の観点			◎評価規準	方法
			関	読	論		
一	1	・学習の見通しをもつ ・本文を通読し、感じたことや考えたこと、疑問に思ったこと等を書く。	◎			・学習の見通しをもっている。 ・事前調査である感想文を進んで書くようとしている。	行動観察 感想文
	2	・学習課題の確認 ・文章全体を序論・本論・結論に分ける ・発表する部分を選ぶ		◎		・学習の事前調査で学習課題を確認し、発表する部分を選んでいる。	行動観察
二	3・4 本時	・教材文を読み取り、発表で必要な部分を図示化する。		◎		・論の展開に沿って図示している。	発表用図
	5	・発表会に向けて内容を確認し、図示の手直しをする。		◎	○	・筆者の論の展開に沿った図になっているかを確認している。	行動観察 発表用図
	6	・発表会を行う		◎	○	・『メディア社会に生きる』の論の展開に沿って、内容を的確に捉え、図を再言語化している。	行動観察
	7	・学習を振り返る ・メディア社会でどのように生きていくか自分の考えを書く。	○	◎		・『メディア社会に生きる』の内容を的確に読み取り、自分の考えを表現している。	振り返り プリント 発表

⑥ 学習の流れ

◎本時の目標 論の展開に沿って、内容を的確に読み取ることができる。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 本時の目標を確かめる。 発表会に向けて～「文章の展開に合わせ、聞き手に分かりやすく図示しよう」		
2 1年時に書いた文章構成図を基に、全体で図示の仕方を確認する。	・『生分解性プラスチック』の説明を全員で図示する。 (図示するポイントの確認) ・記号…順接「⇒」逆説「⇔」、同じような内容「＝」 ・キーワード…枠で囲む ・省略を表す 良…良い点、悪…悪い点	
3 「メディア社会に生きる」の担当部分を図示する。 個人 小グループ 発表	・1, 2年生に分かりやすく伝えるためにまとめることを意識させる。 ・学習活動2の板書やワークシートを手掛かりにさせる。 ・実物投影機でポイントを中心に発表させる。	・論の展開に沿って、文章の内容を的確にとらえ、図示化している。 〔読む能力〕 (発表用図)
4 振り返りをする。	・本時の目標に沿って自己評価カードに記入させる。	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

○ 図示することを通して、文章の論理の展開に沿って内容を的確に読み取ることができる。(思考力・判断力・表現力の育成)

言語活動の充実のための指導の工夫

○ 学習に必然性を設け、生徒の主体的な学習活動を促すために、「1・2年生にプレゼンテーションをする」という単元を貫く言語活動を設定する。